

ひろしま

# 農林業振興 ニュース

(題名を改正しました。)

第11号

H10 7/1

【財団法人 広島市農林業振興センター

〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30番12号  
TEL (082) 845-4770  
FAX (082) 842-2149

財団法人広島市農林業振興センターは、財団法人広島市林業振興公社を統合し、本年4月1日に新たに発足いたしました。今後ともよろしくお願いたします。(組織は第4面に掲載)

## ひろしまの森林をつくり育てます

### 分収林を募集!!

センターでは、“山のみどり”を守り育てるため、分収林事業を行っています。

この事業は、広島市が費用を負担し、センターが植林から伐採までの保育管理を行います。

伐採したときの収益は、一定の割合で分けあいます。

現在、分収林を募集しています。

詳しくは、森林整備課へお問い合わせください。



森林づくりボランティア「もりメイト」による植林



森林の自然を観察・体験しましょう  
森林公園

【問い合わせ先】 森林整備部 森林整備課 (森林公園内)

〒732-0036 広島市東区福田町字藤ヶ丸173番地

☎ (082)899-8241 FAX (082)899-8491

## 就任にあたって

財団法人 広島市農林業振興センター  
理事長 尾田 康雄

4月1日付けの人事異動で理事長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

近年、荒廃の起こりはじめた農地や手入れのされない森林の活用、生産基盤と生活環境基盤との一体的な整備、また、市民からは、農地と森林を一体とした余暇活動の場の整備などが求められており、「農」と「林」を密接に関連させた、総合的な施策を展

開することが必要となってきております。

このため、本年4月1日に新たに財団法人広島市農林業振興センターとして発足し、それぞれの持っている技術力・企画力を相乗的に発揮させ、農家と林家及び農地と森林を一体的にとらえた農林業振興や地域整備、市民との交流の場づくり等総合的な施策を展開し、「高い発展性と社会貢献性を持つ農山村地域の確立」を図ることとしています。

私ども職員一同は、新しい財団の目標に向かい邁進する所存でございます。

皆様方の一層の御協力、御支援を賜りますようお願い申し上げます。



## まちづくりは、ほ場整備から

—安佐北区安佐町2地区—



鷹木 会長

### 〈鈴張地区(鈴張15~18区)〉

鈴張地区農業振興会の鷹木保治会長は、「まちづくりの一環としてほ場整備を行い、優良農地を子孫に継承するため、地域が一丸となってほ場整備の推進に取り組んでいます」と語っていました。

今後、「鈴張南地区」、「鈴張東地区」で事業実施を検討しています。



小田 会長

### 〈西部地区〉

西部地区ほ場整備推進委員会の小田信義会長は、「基盤整備を行い、労力の省力化で生産意欲を促し、新規特産品への取り組みと若い力を導入することにより、地区の活性化を図りたいと思います」と語っていました。

(基盤整備課)

## 水洗化は、快適なくらしを約束



宅地内配管工事



トイレの改装工事



便槽の埋戻工事

農業用水の水質保全と生活環境をよくするため農業集落排水処理施設の整備に取り組んでいます。

すでに、水洗化の工事を行った方は、「トイレの臭いがしないし、安心して使えるため、非常に快適である。また、ハエや蚊も少なくなった」と、大変喜んでます。

整備の完了した地区では、一日も早く水洗化工事を行っていただきますよう御理解と御協力をお願いします。

水洗化工事の問い合わせ先 環境整備課 ☎845-4349

## 新規就農予定者が研修開始



左 溝上さん 右 小林さん

活力ある農業経営者を育成しようと、若い新規就農予定者2人の研修を始めました。研修を始めたのは、平成9年度に公募決定した溝上勝貴さん(21)と小林祐悟さん(22)です。

本年度の研修は、センター内のビニールハウスで軟弱小物野菜の周年栽培に取り組み、栽培技術と生産コストを意識した経営技術の習得を目指します。溝上さんは「同年代のサラリーマンには負けない。農業で食べていく」、小林さんは「早く技術を身につけ、自立できる農家を目指し頑張る」と抱負を話しています。

平成11年度は、センターが農地保有合理化事業で借り受けた農場で研修し、次の年度から経営者として自立する予定です。

(指導課)

## 野菜づくりは減農薬で!



作成した栽培マニュアル 「減農薬に挑戦」



スリップス、ハモグリバエを捕殺するためにネギハウスに設置した粘着トラップ(安佐南区 中筋)

(指導課)

## ナス減農薬栽培試験



防虫ネット被覆栽培試験

(園芸課)

“ひろしまそだち”特産化事業により、消費者の皆さんにより安全な農産物を提供するため、生産者向けに野菜の減農薬栽培マニュアル『減農薬に挑戦』を作成しました。

このマニュアルを基に、本年度から安佐南区中筋・川内地区や安佐北区可部地区などでは防虫ネット、粘着トラップ及びフェロモン剤などを利用した栽培が始まっています。

これまでも消費者から減農薬について「販売量が少なく、一般品との区別ができない」、「時期によっては販売されていない」、「品目が少ない」などの指摘がありましたが、今後は減農薬野菜が安定的に供給できるよう市内全域に普及していきます。

“ひろしまそだち”特産化事業の一環である減農薬化、高品質化への取り組みとして、本年度、全面防虫ネット被覆によるナスの栽培試験を行い、防除効果・採算性・作業性等について検討します。本センターのほ場に施設を設置し、5月14日にナス(品種:黒帝)を定植しました。資材費は約7万円/aでした。

安佐南区佐東地区の農家でも全面防虫ネット被覆によるキュウリやナスの栽培が行われており、本センターと比較しながら、効果、活用範囲を検討していきます。

## クリスマスローズと畑ワサビを特産に



今、人気のクリスマスローズの花



畑ワサビ(定植苗)

特産品開発のため、本年度はクリスマスローズと畑ワサビを導入し特性調査をしています。

クリスマスローズは近年のガーデニングブームで人気があり、寄せ植えコンテナ栽培や下草として和洋どちらの庭にも植えることができます。また切り花としても緑、黄色、暗赤色などの落ち着いた花色が新鮮です。

畑ワサビは畑で栽培できるように改良されたワサビです。秋から春にかけて葉をかいて出荷し、しょうゆ漬やサラダにするとさわやかな辛味や香りが楽しめます。今後特性を十分見て特産化を図る予定です。

(園芸課)



## 好評です ふるさと文化体験教室



味噌づくり (平成10年2月)

花みどり公園では、農村に伝承されているさまざまな文化を市民の皆さんに体験してもらうため、「ふるさと文化体験教室」を開催しています。  
本年度は、7月にアズノの加工品づくり、12月にコンニャクづくり、2月に味噌づくりを予定しています。

(花みどり公園 ☎837-1247)

# TOPICS

トピックス

## スーパーカウ2世が出産、搾乳を始める



平成10年4月13日、スーパーカウ2世が安佐北区安佐町小河内の渡辺真作、和裕さん父子のところで出産しました。

平成7年度に導入したスーパーカウのテリーにプレリウドという父親をかけたあわせた牛です。

乳器も体格も申し分無く、毎日40kg（普通の初産乳牛では30kg程度）の乳量が出ています。渡辺さん父子は「今後が楽しみです」と話していました。

(指導課)

## 剪定枝+牛糞=良質堆肥



公園樹や街路樹からでる枝、葉などの剪定枝はゴミとして捨てられています。“ゴミもリサイクル”から本年度、この剪定枝を ①チップに加工し ②牛床の敷料にして、牛糞と混合させ、③これを取り出し、良質堆肥をつくるという事業に取り組んでいます。実施している安佐北区安佐町小河内の毛利和範さんは「おがくずを敷料とするよりも良い堆肥がつかれそうです」と語っていました。

(指導課)

## 財団法人広島市農林業振興センターの組織図

(主な業務)

